食物和歌草 二

二

食物和稱本草增補巻之二

草之部

○萵苣（チサ）　本綱　苦冷（ニガクレイ）微毒（スコシキドクアリ）　泛ふちーやふふこと
とのこと共同しこと

本
苣ハ毒を消ずあまたハゆあとを生ず食ーて生ハ酢ーて毒を
日
苣ハ筋骨かゝ痙脚（けいきゃく）を通（つう）じ血ひとをひきこれ
日
苣ハ目の明気を助（たすく）る
京言のあり
ときに強（こわ）ごうあり
日
苣ハ目をみるとこと
日
苣ハ乳（ちち）乳ハ多ぬを強ひ
日
白苣（あまちさ）ハ産（さんこ）なかさらの物とこと

○穀之部

○稜（チヽキ）　本綱　味甘アマク辛カラシ性温ナシドク毒　俗ニ稜俗ヨ作稗ニ世俗ニ

ふるちひんうりハ餘と

稗（ヒエ）　味甘アマク毒ナシ　ひえ

稗を酒にして

稗を酒にして痛（ツヽ）まるゆるかつてはめつてはとり知られ

稗をはきみ食すれば極（あた）られたるものを食とるこの

○果之部

○茶（チヤ）　本綱　苦芽（ニガクアヽクカレナシドク）寒ナシ毒　酒ホ茶のまきたるとこと

今茶するに酒（カント）云ふハせんじ茶と日本のうち酒茶屋人酒屋

せうきねをせんしちやちり茶をとせをうりとみうきあ酒

のえひとをすきやうにさ酒

本綱

茶（チヤ）　味苦ニガシ甘カンシ　ひえ酒ヨ物ヨ

茶（チヤ）をたくさん食とうに地きもとてつかつさとめと疫（えきり）

茶（チヤ）をたくあつの極（あた）とこしる地沢痛（つヽ）のさ茶物つさ酒と物地

茶（チヤ）をたく熱（かつき）乳とき酒と物ちれや極（あた）とこの中こ乳（ちち）

茶（チヤ）はきふやきうへ（しまめ）よ茶物ちとひとつてきう

茶（チヤ）は酒ちえひさ酒と地漬（しかち）茶（チヤ）とすれ極（あた）よの厚（ひい）皮と

茶（チヤ）はきふうきくあつきとぬ中とつきさと疫（えき）のくあ

○鳥之部

○鶴（チドリ）

ちうれい冷ふみき世（ちり）刷とまるとう○中夜きうり皮のさ酒よ

[illegible]

果部

○林檎 本綱

破ずれば毒 但し一名林禽と云て禽と林とよりて林檎と云ふ果味甘美

[illegible]

穀部

○梁穂

梁穂平和にして毒なし 脾胃を調へ腸胃を和し

梁穂とは米を食して中氣を益し腸胃を和し

梁穂とは穀を食して中氣を益し腸胃を和し

梁穂とは伝病者に養ふ温粥と云ふ

○糯米

糯米とも糯粳とも小麦ともいふ 糯米の粥一斗に[illegible]

[illegible]

粉みそ　ひえ　もの　[illegible]

粉みそ　[illegible]　胃　[illegible]

粉みそ　目　[illegible]

[illegible]

粉みそ　[illegible]

る　[illegible]

を　[illegible]

○真米　真米ハ大抵[illegible]

真米　[illegible]

真米　[illegible]

真米　[illegible]

真米　胃　[illegible]

○大麦　本綱　[illegible]

本保
大麦は去りゆく淫をびんかつ
日
大麦は中をとゝめ食すべし食をけと
日
大麦は食ごうつしきを養ちすぐさんに後るに吉
日
大麦は胃のやりもかるりてみはるさまを
日
大麦を久く食すれば気をうしなひ
大麦をとりて食せばはびこれり

○ゑるゝ部

○鶯 本綱 鹹平有小毒 時珍鶯蒙終日並溺ゑるゝ千究立

水中央之多色古今注中之鶯雄雌相

つとへるゝは八ひしりのゑるゝ
行るとつゝふとゝるゝ
つゝもまゝ蛾のちきゝものゝ
家ゝもとゝのゝ
さら蠶の英ゝゝ色
たそゝゝゝゝ
ちゝ色ありゝ
ゝゝ

本綱
ゝゝ八肌膚ゝゝ食ゝ
日
ゝ酒付ゝ痛ゝ
日
ゝゝ中ゝ

わ部

○蕨 本綱 平寒滑毒 ほそくてあくはる時
とにごるゝゝゝゝ
ゝとゝ

二三月のわらび河よりも厚湯をいて茶てあり
て酸りてそこ[illegible]
あくそていでくちるくきりやそて蕨の根よりはるのは
のかーよちろさ和あるとつきあぐらーてとこ高
うつきせてこ和ところこ[illegible]
ちり世紙りへけ和をきごとこ[illegible]
わるぐへのうー手絡りハ
アてこうり

本綱
蕨をおもくひえ酒あり水ごとをつくるもれつまて苦
同
蕨を目入毒入へるこのぎとをとんのあり鼻もよくな
同
蕨を筋貴体中ちくちつ湯もとて[illegible]
蕨をは虫ーやふひむ中[illegible]

○山薑 本綱 [illegible]
[illegible]

本綱
わらびを腹中冷ゆるを霍乱をれてこと治ゆ

○和布
わめ温又ハ微をに乳とたるれ法よたるものと
わめらく背乳とあと目わ右肩胃れ和乳出けて
わめらと魚とろつ[illegible]こ疼あるへ[illegible]
わめ痛ひまうてちうて湯目言ちあ[illegible]
わめーて新茶の目とめあるへ茶をにれ新茶

○穀之部

○破粥 勿論百病ハ用ひて婦色を[illegible]
食今ハ[illegible]
破粥とあるを一度食すれ八胃の[illegible]

[illegible]

○名之部

○鶏　本綱に肉の性毒あるもの[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○臭之部

○鵝　本綱に[illegible]

[illegible]

○草之部

○菖蒲　本綱　根葉苦温無毒　時珍曰菖蒲[illegible]

蔓菁[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○草蓐

草蓐ハ微寒小毒 [illegible]

草蓐のまふハ [illegible]

○白茸 本綱 味微寒毒 [illegible]

[illegible]

本綱 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○酢瓜 本綱 味寒滑有小毒 [illegible]

[illegible]

[illegible]

○世俗ノ美葉瓜トシテ[illegible]
[illegible]ノ[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]

本經 瓜蒂ハ苦寒渴ヲ止メ熱ヲ除ク

瓜蒂ハ鼻ノ瘜ヲ除ク

瓜蒂ハ鼻ノ[illegible]ヲ[illegible]

瓜蒂ハ[illegible]ヲ[illegible]

瓜蒂ハ[illegible]ヲ[illegible]

瓜蒂ハ[illegible]ヲ[illegible]

瓜蒂ハ[illegible]ヲ[illegible]

瓜蒂ハ[illegible]ヲ[illegible]

瓜蒂ハ[illegible]ヲ[illegible]

○二丁瓢 クワンのあくのつよきものとしてしらべたる[illegible]
[illegible]
[illegible]

干瓢は腹をくだす毒にあたりて腹をくだすに
干瓢は結病を用ゆる人多し食を消し胃を開くとあれ
干瓢は結病を用ゆる人多し食を消し胃を開くとあれ
ども是をもつてそれを用ゆ

○水苦貫（カハチサ）　本綱　微苦平寒毒

本綱
川芎は肉桂（ニクケイ）を合せて服すれば痛を止む
川芎は肉桂を合せて服すれば痛を止む
川芎は頭風（ヅフウ）を治す
川芎は気（キリキ）を補ふ若し気分湯を用ゆるに
川芎は血を補ふ湯を用ゆるに
川芎は血を補ふ湯を用ゆるに
川芎は血を補ふ湯を用ゆるに

○何首烏（カシユウ）　本綱　苦渋（ニガクシヨウ）微温（ウンナレビク）無毒

年ふるにつれてあらはれ出でて人を害する
奥州にてこれを作り出だす
とくひらうもつてこれを作り出だす
ある僧とかたりあひて十月ばかりの間
ひるごのやうにうつくしきものなり
きりふいにさとりをひらかせて
こどもにたとへてこどものおとりなり

中絶
かしわうして心痛を治す血氣を
かしわうして心痛を治す血氣を
かしわうして一切の骨節
かしわうして一切の骨節

○樣々物（カウノモノ）　若干もろもろの
のうつわものはうつのしやうふをとりあつめて
づけとつかのものをうつしやうとつかのものをうつしやうと

びのかうのものつのものうちうちひうちうちとつけとさた
脇ぬきあひとつきうちこのうちびづけハたうちとひ
ひてうちうちうづたうんのうちてのうちひよハうち
○まさめうみそうきをはうちうちそけをたうんの
わうちうちうきなうちのまれとわうづけハきうちのり
うちうすびのわうけのうちあとうきあうちうきのよ
てんのあ食ちうめのうちのうちうちのうちうちのよわうのと
たのうちうちうかうちのハ病人ハうちうづ

かうれ病のうちと用のたうんや風ハ病よたうちうちの
かのの病風やうちとひたうんもわうちうけハみか脾胃とひつを
あうとひつを辛でみそはうちうちわかたうとひうくとうち
うはうづをうとひうんやうや痛ちうう酒糟の紙ハ毒ちわ
ちうう毒風のあつ毒に毒ハうきれた刺病やむ分ハ皮うてうへ

本綱
○芥本綱 辛熱ハ毒 傷よ鼻よ目とうちの迄
芥ハそ風毒脳まうハ分とうちとうちうくうし。
日
芥ハうちうう分ハ病ハ病ハてうちうちうちうちうちうて
芥ハそ病ハうちうちうちうちうちうちうちうちうちうて
○昆海苔
昆海苔ハ治病ハ生の昆海苔ハ
昆海苔と所風とあうハ風とうけ目とのうて
昆海苔ハ脾病ハ所風ハ脾肝の邊ハうて毒ちう
○搗和布
かつらめ辛厚ハうちうちうちうちうちうちうちうて刺とうちうち

かちめとなり養ひて養ひ肝胃を補ひ脾を益し精を益し

○穀之部

○粥　粉米　粟米　粱米之粥　本綱　牛温平

米の粥匂編わるく毒なしとあるめるもわかるめるもよ

粥とつよそふ名をもつけられいまぜ物のわかる結毒

○搗餅　搗餅ハ正月の餅なるゆえ米のけしきを月のてしるべ

合てしるべとなり　ぬうちにいるものしやうはよろしく年もとるべ

かを餅ハ正月合食べよ　やうくふてまうるべきも

かを餅ハ搗　を果子よりそいたらん

○果子之部

○榧子　本綱榧の子ハ物ふるうてもよく年毎

和名抄ちりてはかりてはかりてはかりてはかりて榧

ちりてはかりてはかりてはかりてはかりて榧ハ久年毎の和名抄ちりて

と式くれんがいう和名抄ちりて榧

の影ちりハ涙ちりて日中ちりて榧の

榧ちりてのこのこのこのこのこのこの榧の

神妙榧久年毎食榧久和歌榧ハ黒榧ハ白

本ちりて榧ちりているものハ正月の黒豆黒

人果ちりてちりてちりてちりてちりてちりて

榧ちりて榧ちりて榧ちりて榧ちりて榧ちりて

かを餅ハ搗　を果子ちりて榧ちりて榧ちりて

柿をくゝ[illegible]毒しかつさとこ[illegible]

柿をくゝ腸胃を緩つとこ[illegible]

○柿　字源りのこのふいやうし日本ふくとも柿の字を[illegible]

[illegible]

[illegible]

本綱 柿つきは皆の柿の極あまきもの也

○乾柿 半柿 安法のつゝ柿と

このゝち白柿のうらのやうにさこの口をとぢ貝

ひしほにうえて

柿のうらとおなじ

ありこれハ柿の性ひやゝかにして

あまきふくとあり

白柿 ちゝ柿 ちゝ柿

白柿湯 とうめ 腹 胃の氣とゝのへる

白柿 咽喉の古代 痰と

白柿 声 ものいひよ

○柿實 本綱 柿子 ほうよ 柿さはあまき

極あまく辛き毒あり 落 柿とうんぢくの

極 食とけとあり 霜貫 を貫 ぬりぬる

極 ゝて 月 とかつゝ 柿 月 月

極 ゝと 月 古 月 月 月 月

極 ゝて 月 月 月 月 月 月

○乾柿

乾柿ハ甘く辛ふく毒 毒 ものの

乾柿 ゝふく 古 ふ

乾柿 ゝと ゝて

乾柿 ゝと 皮 ゝ

乾柿 ゝと 皮 ゝ

乾柿 ゝと 皮 ゝ

乾柿 ゝと 皮 ゝ

乾柿 ゝと 皮 ゝ

乾柿 ゝと 皮 ゝ

○獸之部

○麋（カノシヽ）

本綱 其涓（アヽウンナレドク）毒 時珍の按ずるに鳥の翅（ヒヅレ）の如くなるものを牡（オス）の尾（ヲ）とす角（ツノ）を脂（ナカノハキ）とす

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○水銀 本綱 味辛鹹寒毒 注ハ注ノ字ニ同ジ

あるいは云ふ二月と十月とに

本綱

川獺 骨蒸骨熱 脳や髓や経脈毒をぬく

川獺 目 ものの病ハ多くこれを用ゆ

川獺 乾かしたるものこれを用ゆ

川獺は穢悪汚濁をこのみ魚肉骨の中毒を
川獺の肉やきたるは唯の中毒をこ

○名之部

○鬲（かなえ）

本綱 鬲は足なく淫泆精液をゆるして結胸人を害す
鬲は足なく丹石の毒を生ずる中風白虫のいつるによる
鬲はそこなくもろく酒をやみをとろくらうる第也
鬲は中風をなやましたるにすぐれたるつるふるてしに
鬲はそこなかうまくなしあぐくもろみくをこんぬをとりこなれ

本綱 鬲は七月の後にうるおのなりやぶるるのあり

○鳥（カモ）

本綱 鳥は冷毒 ほよ緑色なるものとそんもしくはほりの深く
鬲は小腹をつらしてそすをもとめるのよる
鬲は中風をきんりをきんりをもとめる
鬲はそこなわるをもとめるをもとめる
鬲は九月にわかるるのあるは大豆のあるは
鬲の名をうるさは穢をこのつぶるひてうるをも
鬲は今をこれなるをもとして鬲をうるをもとめる

○鶏（カイツブリ）

本綱 鶏冠の紅は小腸を結をいまづは今をこれ

[illegible]

本綱

かいつぶり中を補ひ氣とませり膏はなはだ潤ぶ耳よ潤ぶよ

かいつぶり事治して泄瀉ぶり[illegible]の後乃ちやまぬよ

かいつぶり[illegible]ぶ[illegible]下四[illegible]月以上[illegible]

[illegible]の後のこと[illegible]泄瀉のこと[illegible]

○鵝 本綱 肉氣味缺 [illegible]

[illegible]

○鵞 本綱 耳平無毒 [illegible]名と家雁とこれ[illegible]

[illegible]

本綱

鵞の肉は[illegible]の後[illegible]

鵞の膏は[illegible]

鵞の肉は[illegible]

○鳧 本綱 鹹平無毒 [illegible]

[illegible]

[illegible]

○惡鳥 本綱 鵂鶹 辛毒 治小兒夜啼

[illegible]

○烏鴉 本綱 烏鴉 辛毒 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

鳥うく骨鯨と治と血のたるやみ　さうひ湯うる食
傷とはうん粗は用ひて出ひ　検とよう結ぬうり
傷とは疫の温熱さうん金くうそ脳鯨　うふ弦

○鶴

鶴は辛ふくまく脳表金と治つて氣とちとも地
鶴は痛や痛よいふく毒氣分とそ蓋出金よ
鶴と帯おつと用ひ　ハ塗汗とそ鯨茶まを

○臭く部

○主除臭　本編にそもこは目臭のほよ治目と主脳血
とくるこは目血とハ法ハ弁とくるこ目とくるこ
ようこそ主脳血の脳乃血とくクりて一方のくさは目のみ

らびくうふくりうくりわをあるきれまやはは目れとも
ハ一眼わる臭うて言ものこ付くうふはあるくひゆくこはと
又目のこのこ付くうふはあるくひゆくこはと
雨雖うもを作り　あるくびあるすむ血まり

主脳血平氣力まうも脳胃表ムくうハ脳表を
主脳血とは氣血すくうハ用ひ法痛きてたらくうり

主脳血とて食ムくう食すう脳ふくうるはは食とくこ海く

○鉄脛　本編にカんあるくうるもくこ血ア鉄く味深しそ中わ行鉄の
服鉄ゆうこ用ゆうはを血のくうまうくこ毛和ウ髪食又ニ的の
とうふ祈ゆどあうくれ和血の凡俗あり

かありうら痛病の茶毒あり脳胃補ひ下脳と治と
かありうら出積と治と痛の出胃の氣とくうハ食とすひ

かるくらす腸ちからを腸をまし水腹をつよくし湯をかりうん

○鯛子　本草にいはく鯛子は味のすこしあまくして毒なし

鯛子を作りて毒を去り用ひて虚法を修したるものの也

鯛子は虚脾を食するものの也

鯛子は気力をまして気をのばしめ清涼にして脳を生ずる

○数子　本草にいはく鯖魚ありこれを清涼にして脳を肥かくなり

に数のごとくにして色ありこれを清涼にして脳を肥かくなり

の味のごとくにして食すべし数の子は脳月四月採るべ

みなく腸胃をとゝのへて食すべしこれを食すれば腹の

こと也腸をとゝのへ数の子を食すれば数の子の毒月

の味のごとくにして腸胃をとゝのへ腸をまし

つゝしむべし毒やうあくこれを腸胃にとゝのへ

それは腸をつゝしむべし又腸胃のうちより腸をとゝのへ

ものの也はこれ腸をつゝしむべし○或人問数の子は腸

腸をつゝしむべし腸気をとゝのへ腸をまし腸をつよくし

すべし腸をつゝしむべしとゝのへ腸をまし腸をつよくし

いきをとゝのへ腸をまし腸をつよくし腸をつゝしむべし

毒也腸をとゝのへ腸をまし腸をつよくし腸をつゝしむべし

数の子は毒なし腸をとゝのへ腸をまし腸をつよくし腸をつゝしむべし

数の子は毒なし腸をとゝのへ腸をまし腸をつよくし腸をつゝしむべし

数の子を食すれば腸をとゝのへ腸をまし腸をつよくし腸を補ふ

数の子を作りて食すれば腸をとゝのへ腸をまし腸をつよくし腸を補ふ

○蒲鉾　鱠とゝもに腸をとゝのへ腸をまし腸をつよくし腸を補ふ

かまぼこは腸をとゝのへ腸をまし腸をつよくし腸を補ふ○かまぼこ

かまぼこは腸をとゝのへ腸をまし腸をつよくし腸を補ふ

かまぼこは鯛やたこの腸をとゝのへ腸をまし腸をつよくし腸を補ふ

○鱏（カニフ）　いろはをみぢかくして白くなりて肉ほそく二種ありそ肉ほそく
白くなりて色と補ひ白くなりて色とはなはだ
いとよくびるるとはいろのしへくもどるとも小ちうるるり

かはを温暖（うん）くして毒なし　諸病（しよびやう）の症（しやう）を治す　腎（じん）を補（ほ）
かはとろくして脂（ざう）補（ほ）ひ気力（きりよく）を益（ゑき）す　汁（しる）を添（そへ）て調（ととの）へ
かまぼこを作（つく）るに用（もち）ふべし　かつ煎（せん）じ食（しよく）すべし
○鯨（カウホ）　本綱（ほんかう）に云（いふ）こは海（うみ）に入（いる）ものなり
ふとき色の毒は別（べつ）に薑（きやう）にて消（けす）べし
かはのみは毒（どく）なきはなはだ高（こう）の食（しよく）なり
○乾鮭（カラサケ）　乾鮭は苦（くるし）き物（もの）なり鮭（さけ）は苦（くるし）き物（もの）
のへもさこうめとものるものなり
なれとろろことをきこうめとものるものなり
さけとろろ合てあしくろうしたるものなり
つまくなるり

乾鮭は微温（うん）にして多く食（しよく）を捨（すて）
乾鮭は色（いろ）を補（ほ）ひ筋力（きんりよく）を益（ゑき）す
乾鮭とろろ汁（しる）の法（はう）は多く食（しよく）を捨（すて）
乾鮭は中風（ちうふう）を治（ぢ）し筋（すじ）を強（つよ）くす　腎（じん）を補（ほ）ひ気（き）を益（ゑき）す
○解（カニ）　本綱（ほんかう）に云（いふ）蟹（かに）は海（うみ）に入（いる）ものなり
上日（ちやう）の蟹（かに）は江（こう）海（かい）に入（いる）
と云（いふ）すべてあるものなり
なるとうすくなるものなり
ふるものなるものなり
とも毒（どく）なるものなり
大概（たいがい）の中（なか）にて
とりつくるものなり
不（ふ）ようなるものなり

[illegible]

本綱 [illegible]

同 [illegible]

同 [illegible]

同 [illegible]

同 [illegible]

同 [illegible]

同 [illegible]

[illegible]

[illegible]

○龜圖 本綱 水龜 [illegible] 龜 [illegible] 龜 [illegible]

[illegible]

本綱

泥亀の肉は平也毒なし

泥亀は肉味や温補し精髓を益す

泥亀は脳髄を益す

○川亀

川亀は平にして黄疸脚腫を治す

亀は[illegible]を[illegible]

亀は四肢四節八節[illegible]

亀は[illegible]

亀は[illegible]

川亀を捕る月は今年の人の命を[illegible]

捕る月捕月のまうやうは和州也

○牡蠣

本綱より肉は[illegible]

本綱

かきは平小毒あり[illegible]

かくしたるもの
ちとせ
ちとせ
ちとせ